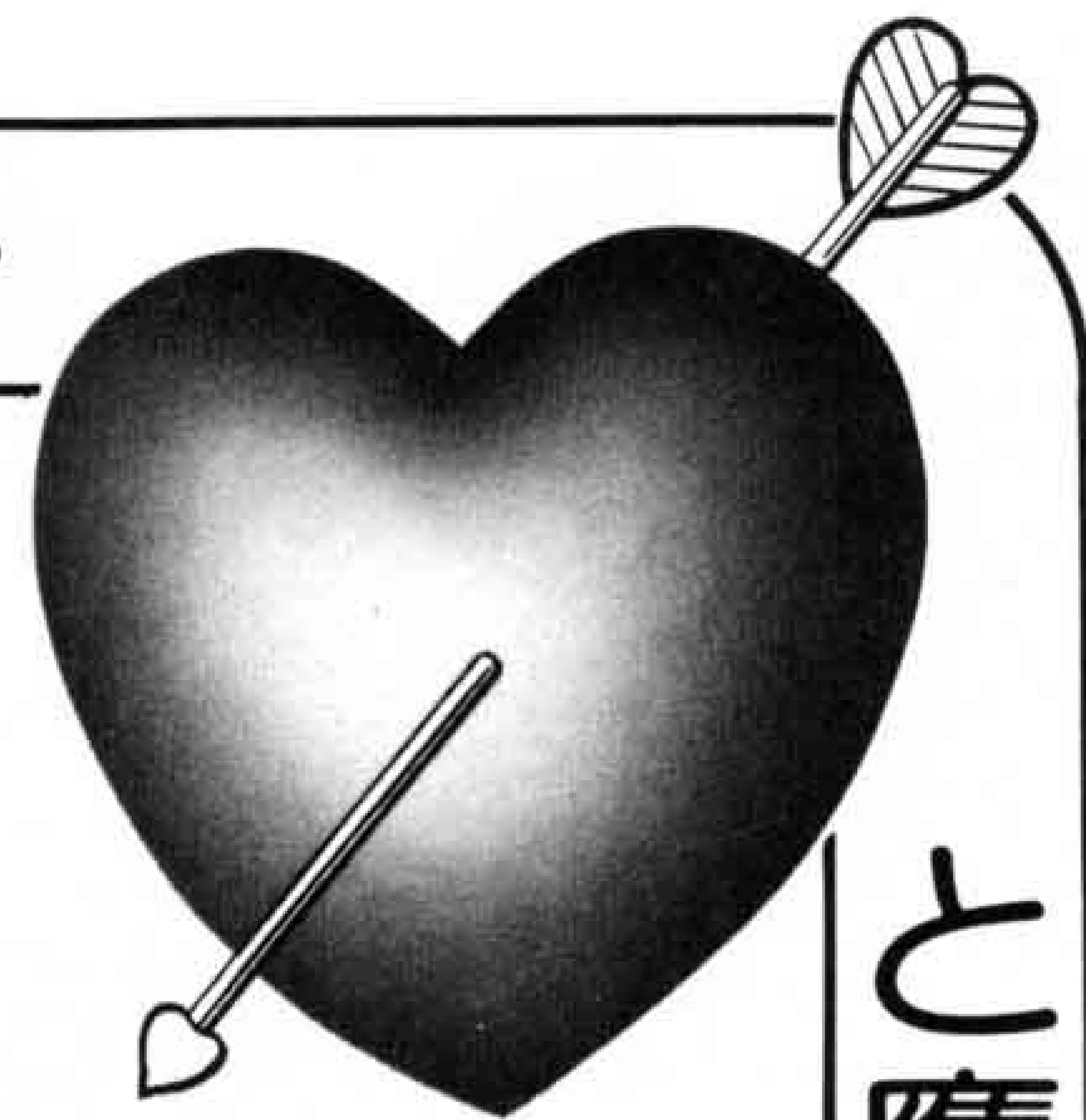


(仮称)

鷹岡社会福祉センター



と鷹岡図書館の建設始まる

社会福祉センターと本格的な図書館が一緒になった、県内では初めて、全国でも大変珍しい施設の建設が、鷹岡中学校の北西(久沢)で始まりました。

市内には、現在三つの社会福祉センターと図書館があり、新しい施設は、それぞれ四つ目。鷹岡地区への建設は、施設の適正配置等を考慮したもので、地区センターとしての機能もあわせ備えていきます。

建物は、五千五十平方メートルの敷地に、延床面積二千百四十五平方メートルの二階建てで、建設費は約六億円。来年三月の完成を目指しています。

生涯学習の 場となります

二階には、お年寄りが楽しめるよう、超音波ぶろ、百畳敷の大広間がつくられ、人気の高いマッサージ機も置かれます。

また、身も心もほぐした後は、図書館で読書も楽しめます。生涯学習の大切さが叫ばれていますが、図書館の併設で、趣味、娯楽、教養の修得など、生涯学習の格好の場となります。

**バスを無料で
あつせんします**

来年
が

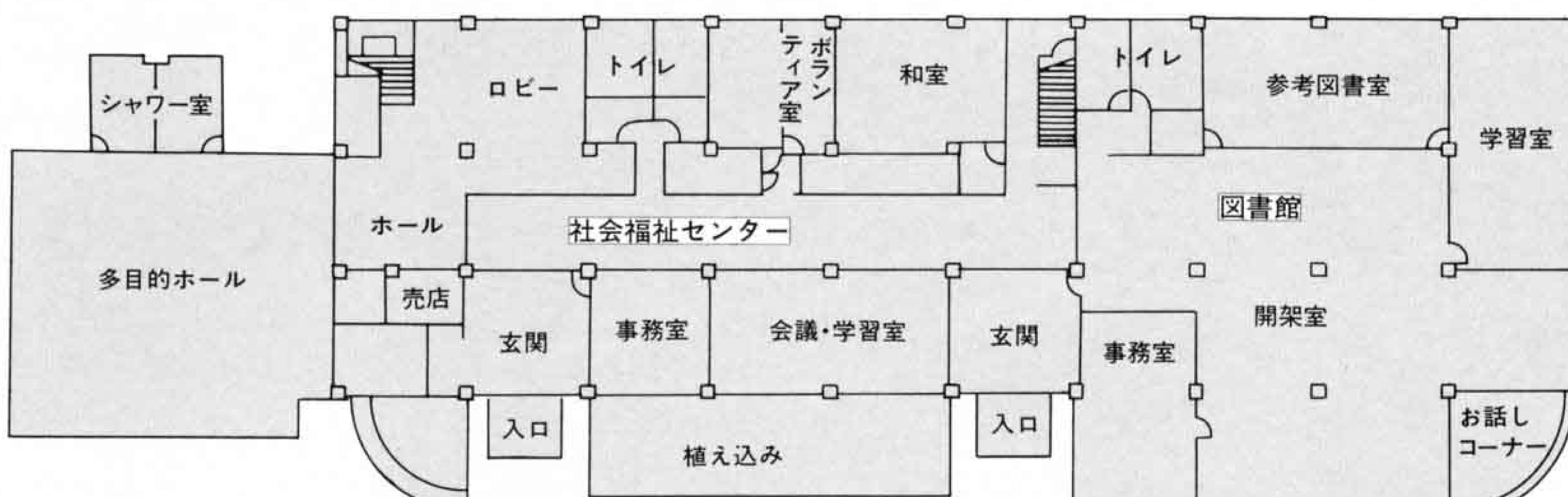
無料バスをあつせんします。

昨年度のバス利用台数は二百台を超えて、富士岡の東部市民プラザには、大渕、厚原、水戸島など遠く離れた地区のお年寄りがたくさん訪れました。

来年は鷹岡でも、バスを利用して交流の輪が広がると思います。

柔道や剣道も できます

鷹岡社会福祉センターの一階は、東部市民プラザと同様に、年齢制限がなく、だれでも使えます。一階の特徴は、二百平方メートルの板張りのホールがあることで、軽体操や剣道ができます。また、五十畳の畳を敷けば柔道もでき、体育馆、武道館としての機能があります。附属施設としてシャワー室も



二
階

一
階



よしえ
小野田由衛さん
まさやす
昌泰君 (入山瀬)



まさじ
笠井政治さん(厚原)

図書館の面積は、中央図書館に次ぐ広さで、約八百平方㍍あります。蔵書は、富士文庫から寄贈された徒然草コレクション、万葉集コ

あり、さわやかな汗が流せます。このほかにも、行事の打ち合わせ、研修などに利用できる会議室、華道、茶道、詩吟、川柳等クラブ活動の場となる和室や、ボランティアグループの活動の拠点となる部屋も用意されます。

みんなの本棚 図書館です

レクションなどの貴重な本や、新たに購入する八千冊の児童図書など約六万八千冊です。館内は、開架室(一般・児童)、参考図書室、学習室、お話しコーナーなどに区切られ、貴重な本は、参考図書室で閲覧できます。また、「お話しコーナー」は子供が座つたり寝転がつたりできるほか、土曜日や日曜日には、ボランティアによる紙芝居や本の読み聞かせなども行われる予定です。

利用対象人口は約四万人。地域の情報集積、発信基地として、期待が膨らみます。

図書館が社会福祉センターと一緒にできるそうですね。核家族化が進んで、子供とお年寄りが接する機会が少なくなっていますから、大変よいことだと思います。

図書館の中に「お話しコーナー」がありますが、ここで子供に本を読んでやりますね。私は、美術書を読みたいと思っています。

鷹岡の人は、社会福祉センターができるのを、待ちこがれていたんですよ。今まで、個人的に広見荘や田子浦荘に行くが、老人会としては、沼津にある有料施設を利用していますね。

今度は歩いて行けるし、超音波ふろも楽しみだなあ。みんなで大切に使いたいですね。

